

「核酸アナログ投与中のB型肝炎例における  
HBV 関連マーカーと発癌率の関連についての研究」  
について

**1. 研究の対象**

当院で2014年3月から2023年12月までに、B型肝炎と診断され核酸アナログ治療を1年以上継続したすべての患者さまを対象としています。

**2. 研究目的・方法**

【目的】この研究は、核酸アナログと呼ばれるB型肝炎の治療薬を使用されている患者さまの検査結果と癌が発症する確率の関連性について検討することを目的として行われます。それにより、B型肝炎に対する治療法の選択や他の治療薬への切り替え、併用療法の必要性などを知ることができ、より良い治療や研究の発展に貢献できるのではないかと考えています。

【方法】対象となる患者さまの電子カルテなどの診療情報から調査を行います。調査は、通常診療にて得られた情報を収集しますので、研究のために治療や検査が変わることはありません。登録後1年までの間は6か月ごと、それ以後は1年に1回調査を実施します。

【研究期間】2014年3月3日から2023年12月31日

**3. 研究に用いる試料・情報の種類**

性別、生年月日、既往歴・合併症、治療薬の使用状況、血液等の検査データ、腹部超音波検査結果、画像データ（CTやMRI） など

\* 試料は取り扱いません。

**4. 外部への試料・情報の提供**

調査の結果は報告書に記載又は電子媒体に記録して、大阪大学大学院医学系研究科・消化器内科学内の研究事務局へ送付し、解析・管理を行います。

**5. 研究組織**

研究代表者

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 教授 竹原 徹郎

研究分担施設

市立伊丹病院 消化器内科

市立東大阪医療センター 消化器内科

大手前病院 消化器内科

住友病院 消化器内科  
市立西宮中央病院 内科  
国立病院機構 大阪医療センター 消化器科  
大阪警察病院 消化器内科  
第二大阪警察病院 消化器内科  
関西ろうさい病院 消化器内科  
JCHO 大阪病院 消化器内科  
市立貝塚病院 消化器内科  
八尾市立病院 消化器内科  
市立吹田市民病院 消化器内科  
市立芦屋病院 消化器内科  
済生会千里病院 消化器内科  
兵庫県立西宮病院 内科  
国立病院機構大阪南医療センター 消化器科  
市立豊中病院 消化器内科  
大阪府立成人病センター 肝胆膵内科  
市立箕面病院 内科  
大阪労災病院 消化器内科  
大阪府立急性期・総合医療センター 消化器内科  
公立学校共済組合近畿中央病院 消化器内科  
市立池田病院 消化器内科

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任医師： 土井 喜宣 （ 消化器内科 ・ 診療部長 ）  
実施施設名： 国家公務員共済組合連合会 大手前病院  
住所： 〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-5-34  
電話番号： 06-6941-0484（代表）

（作成日：2020年2月18日）